

## 今号の主な記事

- ◇年末年始の業務・ごみ収集 ..... 2・3面
- ◇留守家庭児童育成センターの利用申請 ..... 4面
- ◇冬の節電にご協力を ..... 4面
- ◇財政事情を公表 ..... 5面
- ◇消防出初式を開催 ..... 7面
- ◇保健だより ..... 8面



東部総合処理センター焼却施設

## 本格稼動



環境に配慮した設備  
12月22日から運転開始

鳴尾浜に新たに建設した東部総合処理センター焼却施設が、12月22日から本格的に運転を開始します。

同センターは老朽化の著しい西部工場(浜松原町)の代替施設として、4年にわたる工事で整備されたものです。今後、既存の西部総合処理センターとともに、市内で発生する可燃ごみを安定して焼却処分していきます。

問合せは施設整備課(0798-22-6601)へ。



## ごみインフォメーション

## 施設見学受付は来年1月以降

東部総合処理センターの施設見学は来年1月4日から受け付けます。対象は20人以上の団体。申込は西部総合処理センター(0798-22-6601)へ。

持ち込みごみは従来どおり  
西部総合処理センターへ

東部総合処理センターでは、持ち込みごみの受け入れは行なっていません。ごみを持ち込む人は、前日までにごみ電話受付センター(0798-22-6600)で予約し、西部総合処理センターに搬入を。

次号は1月1日号(配布は12月29・30日)

配布についての問合せは西宮市シルバー人材センター(0120-72-4833…午前9時~午後5時。年末は30日まで。年始は4日から)。

市内では、1日平均400トン余りの可燃ごみが発生します。これまで、西部総合処理センターと西部工場の2カ所で処理していました。西部工場の老朽化に伴い、代替施設として整備された東部総合処理センターには、西部工場を上回る1日140トンのごみを処理できる焼却炉が2基設置されています。下表参照。12月からの本格稼動で、市内で発生するごみをより安定して処理することができます。

さらに、東部総合処理センターは、ごみ処理能力の増強以外に、「環境学習都市にしおのみや」にあわしい、さまざまな配慮がなされています。

ごみ焼却の熱利用により効率よく発電



ごみ焼却時に大量に発生する熱を焼却炉上部のボイラで高温高圧の蒸気に変えて、その蒸気の力でタービンを回して発電を行なっています。右写真参照。

## 市内のごみ焼却施設の概要

施設名	東部総合処理センター	西部総合処理センター	西部工場
運転年月	平成24年12月から	平成9年9月から	昭和58年11月~平成24年8月
焼却炉の処理能力	280t/日 (140t/日×2炉)	525t/日 (175t/日×3炉)	240t/日 (120t/日×2炉)
発電能力	7200キロワット	6000キロワット	無し

東部総合処理センターがようやく本格運転を開始することで本市のごみ処理施設の能力の強化とさらなる安定化が図られます。また、この施設は西部工場の代替施設の位置付けではあります。しかし、西部工場にはなかつた大規模な熱回収設備と発



河野市長からの  
メッセージ

## 後の世代に誇りうる環境を引き継ぐために

電設備を有しており、これまで回収できなかつたごみの熱エネルギーを電気として再び社会に還元することが可能となります。東部総合処理センターはごみをエネルギー資源として有効利用することで、資源循環型社会の形成に大きく貢献できる施設といえます。今後とも市民の皆さんに環境行政への理解とご協力をよろしくお願いします。私たちの重大な責務です。今後とも市民の皆さんに有効利用することで、資源循環型社会の形成に大きく貢献できる施設といえます。河野市長からのメッセージ

## にしおのみや津波ひなん訓練

2013.1.27(日)  
午前10時開始

【問合せ】災害対策課 0798-35-3626

市内のごみ処理施設では、環境に有害なダイオキシン類の発生を防ぐため、ごみが約900度の高温で燃やされます。焼却炉から出る排気ガスは有害物質を分解、除去して煙突から放出され、ごみを焼却してきた灰は神戸沖の埋め立て処分場に運ばれます。

ダイオキシン類  
発生防ぐ焼却炉